

JAいわて平泉 「令和7年産米」の集荷拡大に向けて

令和6年産米は、インバウンド需要の増加や令和5年産米の不足感、民間在庫量が過去最低水準となった影響により、米価が大幅に高騰しました。一方で、全国的な高温障害や難防除害虫による減収等、水稻を取り巻く栽培環境は非常に厳しい状況となっております。

こうした状況を踏まえ、令和7年産米についても組合員の所得確保に向けた各種取り組みを実践し、集荷拡大を図ってまいります。

集荷目標 **50万 袋**/30[㍻]

JA全農いわてからJAに提示された
令和7年産「ひとめぼれ」1等のJA概算金目安（最低保証価格）

23,000 円（税込）/60[㍻]

※令和7年産米概算金は、JA全農いわてから提示された金額からJAの手数料等を控除して設定します

全国的な米不足を背景に米価高騰は依然として続いており、令和6年産米の需給環境は非常に不安定になっていました。一方で、令和6年産米のJA集荷活動においては、他集荷業者との価格差が顕著であったため、期中で追加払いに取り組んだものの、集荷目標を下回る実績となりました。

そこで、令和7年産米の集荷については、他集荷業者との価格差イメージを払拭するため、出荷契約時に再生産可能な出来秋概算金保証額をJA全農いわてがJAに示し、価格動向を踏まえた概算金の設定と柔軟な追加払いにより、他集荷業者に対抗できる価格水準を目指していきます。

また、JAグループ共同計算方式では、販売終了後の最終精算がありますので、業者価格と比較する際には、ぜひとも最終精算額まで含めた、トータルでの手取り額でご判断いただければ幸いです。



今年も登場！

お米の「シン方式」



JAでは、品質・食味共に好評を博し、需要が拡大している「いわて平泉米」の集荷拡大と、米生産者の経営安定・所得確保に向けた施策として、昨年度から導入した「シン方式」に今年度も取り組んでまいります。

Q.「シン方式」とは？

A. 生産者手取額を含めた交渉をJA全農いわてと事前に行い、これまで翌年にお支払いしてきた精算金相当額を、前倒して12月にお支払いする精算方式です。

- ・ 契約期間：1年間（単年度申し込み）
- ・ 価格設定：概算金＋年内12月追加払い（精算金相当額）
※取引先との価格設定にめどが付いた段階（12月）で追加払いを行います。
- ・ 取り扱い銘柄：ひとめぼれ
- ・ 11月末までに検査を受けたものが対象となります。
- ・ 紙袋出荷、個人フレコン出荷、施設利用の方も申し込みいただけます。
- ・ 栽培区分別（特別栽培米・限定純情米）の加算はありません。

【注意事項】

シン方式の最終手取り額が通常の出荷契約より高くなるとは限りません。年内早期精算というメリットにご理解をお願いします。

JAでの契約方法

以下の方法を提案することで組合員のニーズを図ります。

通常の出荷契約

概算金＋精算金（翌年）

※出荷時の概算金に、販売完了した段階での「最終精算」を加え所得確保を図ります。

シン方式

概算金＋年内追加払い（12月）

※出荷時の概算金に、取引先との価格設定にめどが付いた段階（12月）で追加払いを行います。

シン方式のお申し込みをすると…

1. **個人フレコンの庭先運賃を無料にします。**
2. **色選・石抜きをかけない個人フレコンも出荷できます。**
 - ・ 積み込みの際はフォークリフトをご用意ください。
 - ・ 引き取りの日時は指定できません。
 - ・ 出荷先は一関糧運倉庫（一関市真柴地内）になります。
 - ・ フレコン袋は生産者にご購入いただきます。
（色選・石抜きをかける生産者へは、これまで通りフレコン袋を貸与します）
 - ・ 栽培記録簿の提出をお願いします。

シン方式を希望する場合は申込書の提出が必要になります

【 お申込期限 】

令和7年8月20日(水)

※お申込書類はJA各営農経済センター窓口に準備しております。

※詳しくは、お近くのJA各営農経済センターまでお問い合わせください。

昨年に引き続き年内早期精算の「シン方式」と通常精算の理解醸成に取り組む他、生産者の皆さまへ高温障害対策やイネカメムシ対策等の栽培技術に関する指導会を定期的
に開催し、良質米生産を支援してまいります。

**令和7年度も引き続き、
JAいわて平泉へのお荷をお願いいたします。**

